

ひきこもり、不登校に関する 支援マップ作成

NPO法人南大阪サポートネット

2024年4月21日

NPO法人南大阪サポートネットの歩み



- 1998年 CAPプロジェクト大阪狭山設立 市内の小中学校へプログラムを届けに
- 2001年 南大阪サポートネット設立 エンパワメントの実現に向けて活動
- 2005年 3月末日、特定非営利活動法人を設立
- 2008年 大阪狭山市男女共同参画推進センターの事業受託
- ~2019年
- 2014年 ひきこもりの若者自立支援を開始
- 2017年 居場所『To-Villa (トビラ)』を開設

Mission 『生きづらさ』をサポートする



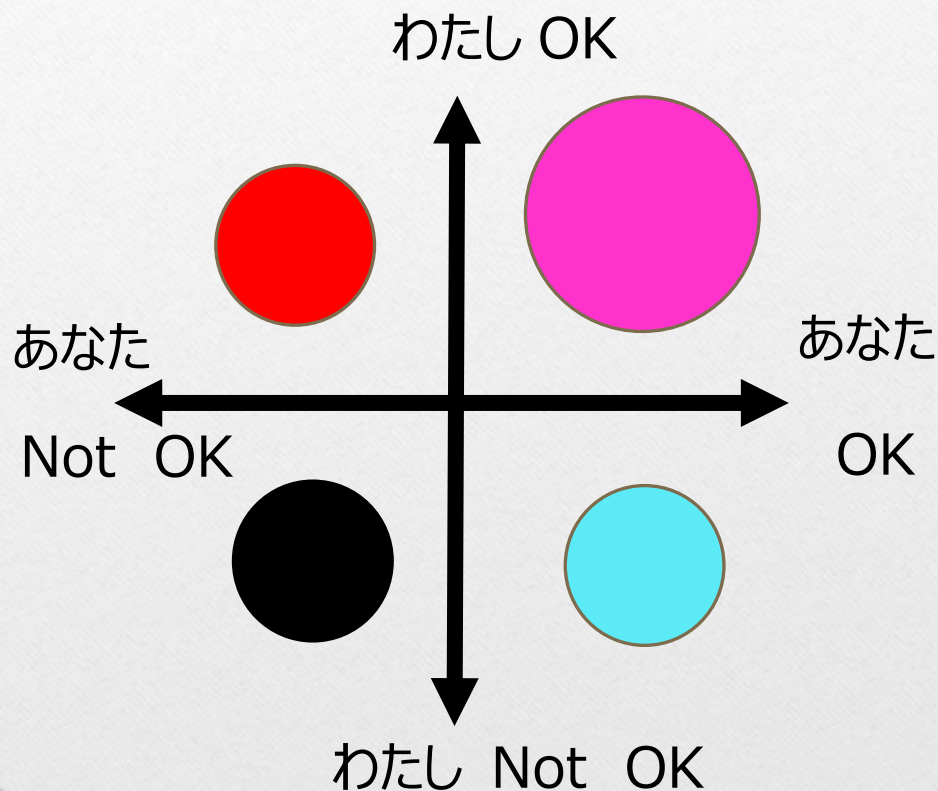
「生きづらさ」
を感じている人達の
想いやペースに寄り添い

「おたがいさま」
の関係の中からみんなが

「ワクワク、笑って暮らせる」社会をめざしています

活動をするうえで
大切にしていること

お互いに尊重しあう関係性 多様性のある寛容で温かな社会



エンパワメント

自己肯定感

やっていることは

居場所 と 機会 を用意しています



- 競争社会の激化や働くことの価値観の変化等、様々な要因で
- ひきこもりの若者が増加
- 「社会的ひきこもり」からの自立をサポート



ひきこもり

実情と社会課題

ひきこもりの実数

15～39歳で2.05%

40～64歳で2.02%

全国の数字にあてはめて

約146万人 と推計

2022年度「子ども・若者の意識と生活に関する調査」の結果を公表

内閣府2023年3月31日

小・中学校 不登校児童生徒数

約24万5千人

小学生 81.498人 中学生 163.442人

前年度から**25%増加**

2022年度 文部科学省調査

15～39歳の若年無業者の数

令和3年

75万人

15～39歳人口に占める割合は2.3%

15歳～64歳の現実としては・・・

居場所に来る人

外出できるが経済活動は困難→ひきこもりの定義からはずれる

特に学齢期を過ぎると所属がなくなり孤立する率が高くなる

困っているが数字には表れない**予備軍**の人たちが
生きづらさを抱え、困難な状況に置かれている

● 課題として

- 年齢層も幅広く長期化する傾向にある
- 理由も様々で一括りにできないので理解を得にくい
 - 発達障害が起因 ⇒ 福祉・医療と連携
 - 精神疾患が起因 ⇒ 福祉・医療と連携
 - その他の起因 ⇒ **社会的ひきこもり ⇒ なし**
重複しているケースも多い 自死に至ることも多々ある

これらのことは・・・



誰にでも
起こりうることです

決して「特定の人」
の話ではありません

不登校 大半は親の責任

朝日新聞 10月18日

「フリースクール、国家の根幹崩しかねない」

東近江市長「不登校 大半は親の責任」

不登校対策について議論する滋賀県の首長会議が17日にあり、小椋正清・東近江市長が「フリースクールは国家の根幹を崩してしまうことになりかねない。よっぽど慎重に考えないといけない」と発言した。

小椋市長はフリースクールへの財政支援について「ごく少数の人に対して、負担をみなさい、というのはフリースクールに行きたいという雪崩現象が起こる怖さを感じる」とも発言した。2016年に成立した教育機会確保法では、フリースクールなど学校以外の「多様で適切な学習活動の重要性」が明記され、国や自治体に必要な財政支援に努めるよう求めている。

首長会議後、報道陣に発言の真意を問われた小椋市長は「不登校は大半は親の責任。財政支援を国が言うべきではない」と述べた。

小椋氏は元県警察官で、13年2月に同市長に初当選。17年、21年と2期連続で無投票当選している。(林利香)

色々な考え方が
ありますが

みなさんは
どう思われますか

**家族も悩みを抱えている
「当事者」と言えます**

サポートネットでは

2020年度（大阪府人権協会人権NPO助成金）

2021年度（大阪狭山市市民公益活動促進補助金）

上記の助成を受け

不登校・ひきこもりの子どもを持つ家族の方への
アンケート調査を実施しました

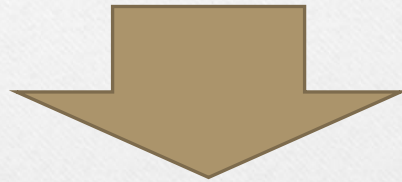
アンケート有効回収数 66部

情報に関する結果 一例

- どこに相談したらいいのかわからなかった 74%
- どのように探せばいいのかわからなかった 77%
- ネット検索情報の信憑性が図りにくい 76%
- 年齢・段階・状況によってどのような
相談先があるのかわからない 80%
- 公的な窓口では民間の情報が
ほとんどもらえない 71%

相談窓口などでどんなことがあるのか？

- ・窓口での対応に傷ついたことがある 49%



悩みを抱えた人がやっとの思いでたどり着いた
ところでこのような体験をすると

次回も・・・ということが大変難しい状況

望む支援・不足している支援について

・情報をもらえるところが欲しい 73%

どんな情報？



**口コミ情報・・・同じ悩みを持つ人が
実際に体験したもの**

ひきこもり、不登校に関する 支援マップ作成チーム えすこーと

だれが・・・当事者家族体験がある
現在支援現場に関わっている

なにを・・・リアルな声（口コミ）を集めたものを

**必要な人たちに寄り添える
温かさのある発信を目指す**

ひきこもり、不登校に関する 支援マップ作成チーム えすこーと

大阪狭山市近隣 ひきこもり相談窓口マップ 各自治体の窓口 まずはここにご相談ください

大阪狭山市 大阪狭山市CSW

平日9:00~17:30

☎072-367-1761 (大阪狭山市社会福祉協議会)

地域の身近な相談員、CSW (コミュニティソーシャルワーカー) が、生活上の困りごと、悩みごとの相談に応じ、課題の整理・解決に向けて共に考えます

河内長野市 河内長野市CSW (コミュニティソーシャルワーカー)

平日9:00~17:00

☎0721-65-0133 (河内長野市社会福祉協議会)

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) が、生活上の困りごとや様々な悩みの相談を受けています

大阪狭山市 市役所内福祉政策グループ

☎072-366-0011 平日9:00~17:30

ひきこもり等で悩みを抱える方やその家族の相談窓口です
それぞれに合わせた支援や関係機関などへの案内もしています

河内長野市 市役所内生活福祉課

☎0721-53-1111 平日9:00~17:15

ひきこもり等で悩みを抱える方やご家族の相談を受け、それ
れに合わせた支援や関係機関などへの案内を行なっています

堺市 堺市ユースサポートセンター

☎072-248-2518 平日9:00~17:30

不登校・ひきこもりなどの困難を抱える子ども・若者 (49歳以下)、
家族や関係者の総合相談窓口です



富田林市 きらめき創造館 毎月第4木曜日

金剛連絡所 3.6.9.12月第2火曜日

☎0721-26-8056 平日9:00~17:30 (予約専用)

ひきこもり等で悩みを抱える子ども・若者 (市内に在住中学校卒業後~概ね30歳代) やその
家族を対象にカウンセラーによる相談を実施しています。お気軽に相談ください

堺市 堺市こころの健康センター ☎072-245-9192

☎072-241-0880 (ひきこもり相談直通回線) 平日10:00~12:00

こころの健康に関する相談や援助、情報の提供を行っています。40歳以上ひき
こもりの状態にある方や家族からの相談をお受けています

富田林市 富田林市CSW 平日9:00~17:30

☎0721-25-1000 (富田林市役所内線273)
☎0721-25-8200 (富田林市立総合福祉会館)
☎0721-28-3180 (金剛連絡所2階 *9:30~16:30)

生活上の課題を抱えている方や家族に対する支援、地域住民や社会資源等とつな
がるお手伝いをするのが「まちの相談員」CSWです

発行者 NPO法人南大阪サポートネット

えすこーと 実行委員会

090-9048-6004

大阪狭山市半田6-1179

LINE公式アカウント

情報もお届けしています

お友達登録してくださいね



(ひきこもり支援に関する情報発信をする当事者・当事者家族・支援者で構成されたグループです)

2024年 3月 発行 (A-2402)

ひきこもり、不登校に関する 支援マップ作成

家族の会

当事者会

フリースクール

居場所

医療機関

オンライン居場所

子ども食堂

通信制校

ひきこもり、不登校に関する 支援マップ作成

- ①定例会議・作成・発信作業 1回/月
紙媒体、SNS、公式LINEなど検討
- ②情報収集 目標10ヵ所
実際に訪問し主催者と顔合わせ、聞き取り
信頼できる情報収集
- ③研修と交流会
近隣より広域連携の繋がりを作る
学びの共有で連携支援体制の基礎を作る



LINE公式アカウント

様々な情報を発信しています

QRコードから

お友達登録してみてください

ご清聴ありがとうございました

